NEWS RELEASE

2026年11月16日

会社名　ナイル株式会社

代表者　代表取締役社長 高橋 飛翔
（コード：5618 東証グロース）

問合せ先　取締役 コーポレート本部 本部長 長澤 斉
（電話番号：03-6682-9692）

ナイル、生成AIにおける自社・競合の言及率・引用率を可視化する「Nyle AI Visibility Cloud」を提供開始 ～ChatGPTやGeminiなど主要5サービスに対応。AI検索での自社の立ち位置を把握し、LLMO施策の改善を支援～

ナイル株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：高橋 飛翔、証券コード：5618、以下ナイル）は、ChatGPTやGeminiなどの主要な生成AIにおいて、自社と競合の言及率・引用率を可視化するダッシュボード「Nyle AI Visibility Cloud（ナイル AI ビジビリティクラウド）」の提供を開始しました。AI検索における自社の立ち位置や課題を把握し、LLMO（AI検索対策）施策の検討・効果検証にご活用いただけます。

■背景

生成AIによる情報収集や商品・サービスの比較・検討が広がる中、AI検索対策に本格的に取り組む企業が増えています。一方で、従来のアクセス解析では、AI検索が購買行動に与える影響を十分に把握することが難しくなっています。ナイルにおいても、GA4で計測した生成AI経由の問い合わせ割合が約3%であったのに対し、オウンドメディア「ナイルのSEO相談室」へのお問い合わせ時に「ナイルを知ったきっかけ」として生成AIを挙げた方の割合は約34%と、大きな差が見られました（いずれも2026年5月～9月の数値）。

また、AI検索には検索順位のように日々追える指標がないため、対策の起点となる「現状把握」ができていない企業がほとんどです。

そこでナイルは、企業がAI検索における自社の現状を把握し、データに基づいた施策の検討・改善を行える本サービスの提供を開始しました。本サービスは、企業のLLMO支援を行う当社コンサルタントの意見を取り入れながら、計測機能やダッシュボードの改良を重ねて完成したものです。

■「Nyle AI Visibility Cloud」の概要

主要な生成AIの回答を定期的に取得し、自社と競合の「AI言及率」「AI引用率」を可視化するダッシュボードです。AI検索における自社の現状把握に加え、過去のデータとの比較や推移の分析も可能で、改善すべき領域の特定や施策実施後の変化の確認にご活用いただけます。

■主な特徴

- **主要5サービスに対応**
  ChatGPT、Gemini、Google AIモード、AI Overviews、Perplexityに対応しています。計測対象とする生成AIを選択し、把握したい質問文（プロンプト）を登録することで、それぞれの回答における自社・競合の言及率や引用率を確認できます。

- **自社と競合の言及・引用状況をジャンル別、質問文別に比較**
  質問文は目的やテーマごとにカテゴリーを設定でき、ジャンル別の分析が可能です。自社の言及率が高い質問文や、競合との差が大きい質問文を抽出する機能も備えており、優先的に改善すべき領域の検討に役立てられます。

- **AIの回答を継続的に計測し、施策の効果検証に活用**
  生成AIの回答を日次・週次・月次で自動取得し、言及率・引用率の推移や期間ごとの変化を確認できます。生成AIが実際に出力した回答文も確認できるため、自社がどのような文脈で紹介され、どのWebページが引用されているかを把握できます。

- **回答データのレポート出力**
  回答データはCSV・HTML形式でダウンロードできるほか、PowerPoint形式でのレポート出力にも対応しています（プロプラン以上）。定期的なモニタリングや社内報告、施策実施前後の比較にご活用いただけます。

■ご利用プラン

計測できる回数とサポートの範囲に応じて、スタンダード（月間計測回数14,880回まで）、プロ（同24,800回まで）、エンタープライズ（同37,200回まで）の3つのプランをご用意しています。いずれのプランでも、対応する5つの生成AIすべてを計測できます。料金はお問い合わせください。無料トライアルも受け付けています。

サービス資料はこちら：https://www.seohacks.net/ebook/30708/

■業績への影響

本件が2026年12月期の業績に与える影響は軽微です。今後、修正の必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。

■会社概要

社名：ナイル株式会社
住所：東京都品川区東五反田1丁目24-2 JRE東五反田一丁目ビル7F
設立：2007年1月15日
代表者：代表取締役社長 高橋 飛翔
証券コード：5618（東証グロース市場）
事業内容：自動車産業DX事業、ホリゾンタルDX事業
URL： https://nyle.co.jp/

■メールマガジンで情報配信しています

すべての適時開示・PR情報をお知らせします
ご登録はこちら：https://nyle.co.jp/contact/magazine-ir/